

学 校 教 育 目 標	自主・自立をめざす生徒（自ら学び、正しく判断し、実行する生徒の育成）			
目 指 す 学 校 像	―努力夢現― 自他の成長のために「努力」を重ねる生徒を育てる学校			
重 点 目 標	1	教科好き大作戦	（学ぶ楽しさと努力継続力の育成）	
	2	愛情たっぷり大作戦	（安心とつながりの生徒支援）	
	3	おらが学校大作戦	（地域連携と誇りの醸成）	
	4	すぐやる課大作戦	（挑戦を支える土台づくり）	
	5	和以為尊大作戦	（最高の授業と最高の生徒支援づくり）	

※重点目標は6つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。
※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、
方策の評価指標」を設定。

達	A	ほぼ達成	（8割以上）
成	B	概ね達成	（6割以上）
度	C	変化の兆し	（4割以上）
	D	不十分	（4割未満）

学 校 自 己 評 価								学校運営協議会による評価	
年 度 目 標				年 度 評 価				実施日令和 年 月 日	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校運営協議会からの意見・要望・評価等	
1	〈現状〉 ○全国及び市の調査では、国語・算数に比べ、社会や理科において良好な結果が見られる。 ○全国及び市の調査では、生活に関する質問への肯定的回答の割合は高い一方で、教科の好き嫌いに関する質問への肯定的回答の割合は低い。 〈課題〉 ○全国及び市の調査結果の分析から、特に基礎的内容に関する設問で定着率に課題がある。 ○教科への関心が十分に高まっておらず、生徒が学習の意義や達成感・充実感を味わえるようにすることが課題である。	学ぶ楽しさと自己効力感を育てる授業改善の推進	①新生徒用 iPad や WORLD CLASSROOM の活用も含め、単元を見通した授業を行い、教科好きを増やす。 ②単元チェックによる「やればできる」実感を高め、生徒の力を最大限伸ばす。	①生徒アンケートにおいて、授業に関する項目の肯定的な回答の割合が90%以上となったか。 ②生徒アンケートにおいて、教科好きに関する項目の肯定的な回答の割合が70%以上となったか。					
		家庭学習習慣の確立と努力継続力の育成	①公立入試変更を受け SCS や面談で目標の言語化と振り返りで可視化をする。 ②スタディサプリや計画表で学習習慣を高め、継続して努力する自走力を育てる。	①生徒アンケートにおいて、将来の夢に関する項目の肯定的な回答の割合が70%以上となったか。 ②生徒アンケートにおいて、学習習慣に関する項目の肯定的割合が70%以上となったか。					
2	〈現状〉 ○全国及び市の調査では、「学校に行くのが楽しい」と回答した生徒の割合が全国・市平均を上回っている。 ○生徒は基本的な規範意識や人権意識をもって生活している。 〈課題〉 ○生徒は規範意識や人権意識をもって生活しているが、受け身の行動が多く、自主自立の力が十分に育っていない。 ○人間関係づくりにおいて受け身の姿勢が見られ、人間関係スキルに課題のある生徒もいる。	主体的参画を通した自己有用感・自己指導力の育成	①80周年や校則見直し、自販機ルール、図書選定、学校運営協議会、学級・学校への参画を広げ自己有用感を育てる。 ②コーチング手法を生かし自らも考え行動する力をより一層伸ばしていく。	①生徒アンケートにおいて、生徒の主体的参画に関する項目の肯定的な回答の割合が90%以上となったか。 ②生徒アンケートにおいて、生徒の自主的にに関する項目の肯定的割合が70%以上となったか。					
		人権意識の向上と人間関係スキルの育成	①年間を通して人権意識を高め、人間関係スキルを育て、共感的人間関係を築く取組を進める。 ②困ったときに SOS を出せるよう、日頃から愛情たっぷり接し、安心して相談できる関係づくりを徹底する。	①生徒アンケートにおいて、友だちに関する項目の肯定的な回答の割合が90%以上となったか。 ②生徒アンケートにおいて、相談に関する項目の肯定的割合が90%以上となったか。					
3	〈現状〉 ○年12回、地域人材を活用した授業を実施し、スクリレにて保護者に情報発信を行っている。 ○地域ボランティア活動には、年間26回、延べ260名が参加している。 〈課題〉 ○地域人材を活用した授業は実施しているが単発で終わることが多く、保護者や学校運営協議会との連携、年間指導計画との結び付きが弱い。 ○地域ボランティア活動への参加は約半数の生徒であり、主体的な参画には至っていない。	地域とつながる授業づくりと情報発信の充実	①カリマネデザインマップによる単元と連動した授業（水泳授業の民間委託等）を構築する。 ②80周年記念行事も絡めて、積極的に学校の情報を発信する。	①カリマネデザインマップが前年度に比べ分かりやすいものとなったか。 ②保護者アンケートにおいて、発信に関する項目の肯定的割合が90%以上となったか。また、学校の発信力が高まったか。					
		地域での実践的学習を通した地域を担う力の育成	①授業で「地球視点で地域を捉え、地域で実践する学び（PDL）」を推進する。 ②地域での実践を通して未来の地域を担う人材の育成を進める。	①地域の課題について、それに関する地域の方々に提案できたか。 ②地域ボランティアに参加した生徒の割合が、前年度の割合を超えることができたか。					
4	〈現状〉 ○生徒の生活習慣は概ね整っているが、体力づくりや個別の課題が見られる。 ○生徒の安全・防災への意識は高まっているが、校内でのけがは依然として見られる。 〈課題〉 ○保健体育の授業を中心に、体力づくりの意義をさらに高めていく必要がある。 ○教職員による施設・設備の安全点検を確実に行うだけでなく、生徒自身が危険を予測し回避する力を育成することが課題である。	健康づくりの推進と個別支援の充実	①睡眠・朝食・体力づくりなどの健康づくりの取組や個別面談を充実させる。 ②スマホの使用も含め、小中一貫の取組を模索し、生活習慣を支援していく取組を進める。	①生徒アンケートにおいて、健康に関する項目の肯定的な回答の割合が90%以上となったか。 ②生徒アンケートにおいて、体力づくりに関する項目の肯定的割合が80%以上となったか。					
		安全な学校環境の整備と安全指導の継続	①予算を効果的に活用し、点検と迅速な修繕を徹底して安全な環境を維持・発展させる。 ②安全指導を継続的に行き、安心して挑戦できる学校づくりを進める。	①生徒アンケートにおいて、安全に関する項目の肯定的な回答の割合が90%以上となったか。					
5	〈現状〉 ○教職員のICT機器の活用は進んでいるが、生徒用PCの更新に伴い新たな研修が必要である。 ○教職員はチームとして協働しているが、負担の均衡化や組織内の風通しをさらに改善したい。 〈課題〉 ○生徒用新PCに対応するための教職員研修および習熟が必要である。 ○教職員間の負担の均衡化に課題がある。	iPad 研修の最優先化と進路指導の強化	①基礎GIGA委員会を中心に、iPad研修を年間通じて最優先で進める。 ②生徒への将来の夢や希望に関するキャリア教育、進路指導を充実する。	①教職員アンケートにおいて、研修に関する項目の肯定的な回答の割合が90%以上となったか。 ②生徒アンケートにおいて、将来に関する項目の肯定的な回答の割合が70%以上となったか。					
		業務の均衡化と風通しのよい職場づくりの推進	①業務量管理・健康確保を踏まえ、3分類の徹底、人事配置や分掌再編を実施する。 ②業務精選、風通しアンケートにより余裕を生みウェルビーイングな職場環境をつくり、学校力を高める。	①3分類が徹底でき、効果的な人事配置や分掌再編が維持できたか。 ②教職員アンケートにおいて、業務改善・風通しに関する項目の肯定的な回答の割合が80%以上となったか。					